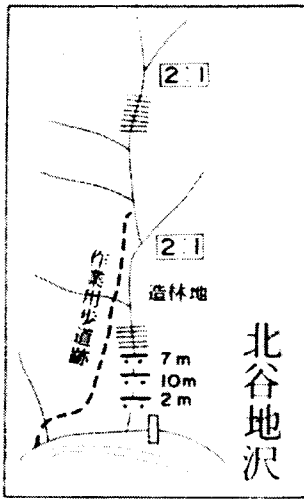


ガラ沢

一九八五年六月三〇日

入カラ沢を終えていったん中ノ沢まで下ったあと、ガラ沢に入る。出合はヤブがかぶさり、貧弱である。廻行を開始して一五分程で二俣に到着。この上部はスケールは小さいがナメとなっている。次に三俣、二俣と小滝が出てくるが、あとは沢が分かかれ、源頭となってしまう。ヤブがかぶさり、水もなくなった所で廻行



終了とする。所要時間は三〇分程であった。

(記・切)

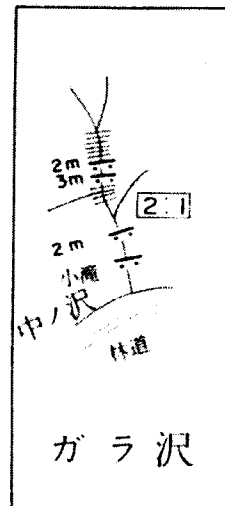
「タイム」ガラ沢出合(九:四五)↓

北谷地沢

一九八五年七月二七日

ゲートより林道を歩く。二〇分程で北谷地沢出合に到着。中ノ沢に下って北谷地沢を見ると、出合に滝がかかっているのが見える。コケがついていてすべるので、右岸を登って上に出る。

幸先がよいと意気高く歩き始める



二俣(一〇:〇〇)↓廻行終了(一〇:二〇)

が、あとは平凡な河原歩きとなってしまった。このあたり植林された一五年生くらいの杉が寒風害で赤くなっている。また、右岸には作業用の歩道が時々見えている。

平凡なままヤブがかかってくる。ひどくなってきたところで廻行終了

とし、作業用歩道を利用して戻る。
中ノ沢と北谷地沢の合流点より一〇
〇〇程下流で林道に出た。

(記・和)

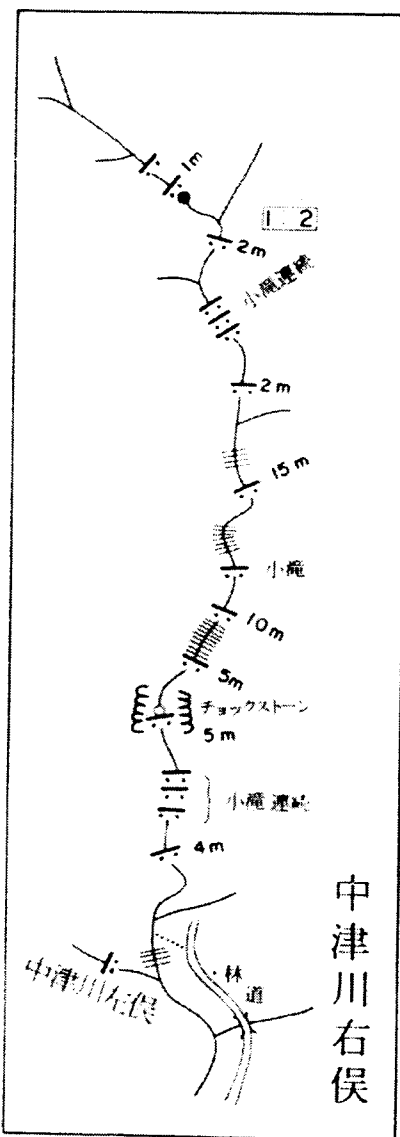
「タイム」 ゲート(一四:一五) ↓北
谷地沢出合(一四:三五) ↓遡行
終了(一五:二〇) ↓林道(一五:
五〇) ↓ゲート(一六:〇五)

中津川右俣

上平 中津川右俣
一九八一年八月九日

摺上川の支流のなかでは、烏川と
この中津川が大きい。下流及び中流
部は営林署の林道がのび、ゆるやか
な流れとなっているが、上流部は等
高線の間隔が狭く、滝を期待しての
遡行である。

六時四五分福島発。八時一〇分に



中津川右俣

「におい」がする。しかしこの沢は、
水アカが多く、コケのついていると
ころもあって、油断できない。

まもなくF1四段。これを越える
と小滝が続き、その先はゴルジュと
なる。以外に険悪だ。この先、F2
五段、F3一〇段とナメをはさんで
次々と出現する。茂庭の沢は当たり
はずれの差が大きい、この沢は見
事当たりのようだ。

やがてF4一五段。この沢で最も
大きな滝だが、登るのは難しくない。

は車デポ地へ。車は林道終点より五

〇〇程手前にデポした。林道は、
地図にあるよりさらに奥にのびてい
たが、最後の方は落石のため通行不
能となっていた。

八時三〇分入溪。水は冷たい。ま
た、木がうっそうとしており、滝の